

1,000人規模の 保育園増設へ！

大型開発より、くらし・福祉を！



新年度の予算を審議する第1回定例区議会では、区民の切実な願いを反映し、待機児童解消のための1000人規模の認可保育園増設計画や、区が開設できるようになった児童相談所開設準備の予算などが盛り込まれました。これらは、区民とともに、議会で先頭に立って求め続けてきた日本共産党区議団の貴重な成果です。さらに区民要求実現へ全力で頑張る決意です。

くらし予算抑え

1650億円の積立！

江戸川区は、人件費の抑制や福祉の見直しなどで、新年度までに新たに約170億円を基金に増し、主な6つの基金を合計1650億円としました。特に、JR小岩駅周

辺等街づくりに約320億円、庁舎等大型区民施設建設基金に192億円など、大規模開発に巨額の基金を積立しています。

福祉の削減！

「熟年ふれあいセンター」廃止など

区は、過去最高の積立基金を大型開発や大規模施設につぎ込むとしています。その一方で、大切な介護予防事業として、多くの高齢者が楽しみにしてきた「熟年ふれあいセンター」をはじめ、「熟年いきいきトレーニング」などふれあい4事業の廃止、「歩行者」の支給に所得制限、障害者施設の宿泊訓練に「利用者負担」を導入するとしています。



介護予防事業の一コマ

児童相談所を中央3丁目に開設 2020年度

子どもの虐待のニュースが後を絶ちません。江戸川区も7年前、小学校1年生男児の虐待死亡事件が起きました。歯医者さんからの通報を生かされませんでした。通報を受けた子ども家庭支援センター虐待SOSに専門家が一人もなかったことも重大でした。区は、この教訓を踏まえ、子どもの命を守り一貫した対応をするため、いち早く開設を計画しています。

区議団は児童心理士、児童福祉士など専門的な人材を十分に確保し、東京都との連携も強め、対応できる児童相談所開設に向け提案や要望をしています。

また、虐待を生まない家庭をつくるための総合的な支援をする子ども家庭支援センターの充実も求めています。



児童相談所予定地

「共謀罪」や 「森友学園」も質問

地方自治の目的は「住民福祉の増進」にあり、大規模開発よ

りくらし・福祉優先の区政にしなければなりません。

区議会本会議や予算特別委員会では、区民に関心の高い「共謀罪」や「森友学園」をめぐる問題を質問しました。「共謀罪」について区長は「権力

の乱用はもつてのほか」とし、幼稚園児に「教育勅語を暗唱させる」などの「森友学園」の教育内容には「違和感を覚える」と答えました。

認可保育園 増設で

待機児童 解消を

昨年4月の、区の待機児童数は397名、隠れ待機児童数1216名を加えると、合計1613名にも上りました。今年も多くの待機児童が予測されます。

0歳から2歳児までの小規模保育所を卒園する3歳児の受入れも大変です。現在の保育施設は表のように複雑になっています。

これまで、区議団は「待機児童解消は認可保育園の増設で」と、一貫して提案してきました。江戸川区は、切実な区民の声を受け止め、来年4月に私立認可保育園11園、小規模保育所6園の開園のために、1000人規模の保育園整備助成、約26億4900万円の予算をつけました。

安心して預けられる保育の質の確保を

処遇改善と、よりよい保育への指導・監査を強めることを求めました。



今の保育

※2015年保育制度が変わりました。

		入所対象年齢	備考
認可	認可保育園	0歳、1～5歳	区立、私立(企業立含む)
	認定こども園 (幼稚園と一体)	0～5歳	企業立 1ヶ所
		1～5歳	学校法人 1ヶ所
	地域型 保育事業	小規模A型 (全員保育士資格)	私立、企業立 ※定員6～19人
		小規模B型 (6割保育士資格)	
		事業所内保育 (全員保育士資格)	企業立 地域枠が数人有 1歳になった 年度末まで保育
その他	区の認定 保育ママ	0歳	
	認証保育所	0～2、3、5歳 施設により異なる	個人契約
	認可外保育所	施設により異なる	個人契約

認可・保育ママは区で入園など決定する。企業立とは株式会社。

テロ対策と無縁の「共謀罪」

実際の犯罪行為がなくても、相談、計画しただけで処罰する「共謀罪」。区民の平穏な暮らしを壊してしまう危険があり、思想及び良心の自由を保障した憲法第19条に背く違憲立法です。区民を守るべき区長の見解を尋ねました。

区長は「テロに名を借りて国家権力の乱用があるとするならばもってのほか。ただ、両論の議論が続いており、見守るしかない」と答弁しました。

予算修正案を提案

暮らし福祉優先の予算を求め、スーパー堤防事業の無駄遣いをけずり、就学援助の入学

スーパー堤防の無駄遣い 税金ため込みの予算に 反対

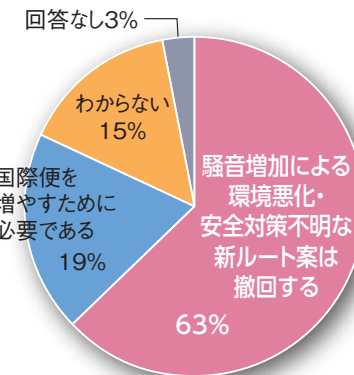
今年の予算は、1000人規模の保育所増設や保育士処遇改善など歓迎される内容もあります。しかし、他方、くらしをおびやかす国の施策に対して区民を守る姿勢に欠け、税金のため込みをますます増やしています。さらに、スーパー堤防の無駄遣い、官製ワーキングプアを生み出す人件費抑制、教育行政への冷たい姿勢があります。区議団は、これらの問題点を指摘し、様々な提案をしました。従って、一般会計と特別会計(国保・介護・後期高齢)予算に反対しました。

国保料、後期高齢保険料 大幅値上げに反対

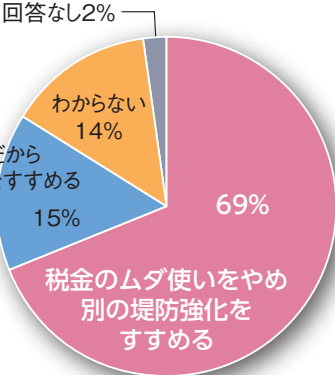
国保料は1人あたり平均で約7000円の値上げ、この5年間で金額・引き上げ率とも最大です。世帯によっては、年収の1割にもなる過酷な値上げに反対しました。

後期高齢保険料は、国が保険料の特例軽減を廃止するため、加入者の約5割の方が値上げとなります。数年の経過措置はありますが、10倍になる人も。高齢者いじめの値上げは許されません。

羽田空港機能強化・航空機増便 新ルート案について



スーパー堤防について



アンケートの結果報告その2をご紹介します

盛土・地盤に欠陥見つかる

中止しかない

スーパー堤防



大幅縮小されたスーパー堤防計画 緑 従来の区間 赤 今後の区間

同様に、篠崎公園地区・上篠崎一丁目北部地区では、スーパー堤

区

画整理法を無視

500基のお墓まで移転

最強の堤防だとして、時間も経費も無視して強行しているスーパー堤防事業。しかし、北小岩一丁目東部地区の地盤調査を行ったところ、住宅建設に必要な強度がないことが一部区画で判明しました。壊れない堤防にするからと住民を立ち退かせ、裁判にも訴えら

住

宅再建が延期

地盤強度不足

れた事業で、こともあろうに地盤が弱いというお粗末な結果です。区や国交省が進めるスーパー堤防が本当に安全なのか疑問だらけ。地盤調査後改良して、住民の住宅再建をする国や区は説明しますが、関係住民の怒りと不安はピークに達しています。

最

も危険な利根川は中止

でも江戸川は強行の矛盾！

スーパー堤防の必要性に関して、江戸川区は、戦後すぐのカスリーン台風被害を例示し、「利根川で堤防決壊すれば、江戸川まで水が押し寄せるから大変だ」と不安をあおりました。ところがその利根川は計画縮小で一切中止。江戸川でもわずか河口から葛飾区あた

防と一体で区画整理を進めるため、「権利者の従前の宅地と照応するように、移転後の区画を割り振る」という区画整理の原則を江戸川区は無視しています。500基のお墓を持つお寺まで移転させる計画をはじめ、多くの住民は元の場所から大きく離れたところに



地盤の弱さの原因について国交省と交渉する地元関係者



道路舗装中で完了間近だった北小岩地区

移転させられてしまうものです。こんな法律無視は断じて許されません。

りまでに短縮されました。この短縮した計画では上流の堤防決壊による被害は全く防げません。初めから治水対策として計画された事業ではないと言わざるを得ません。しかし、この矛盾にまともな回答はありません。

江戸川2丁目に所在する「くつろぎの家」が廃止されることになりました。(2019年度中)

江戸川清掃工場からの熱供給を受けていた施設で、お風呂や足湯、囲碁将棋など、交流の場としても大いに利用されていました。ところが、区は突然、清掃工場の建て替え時に廃止すると方針を出しました。区議団は、清掃工場の余熱利用はどこでも行っており、温水プールなどの住民要望もあり、将来的にこの地域に温水プールを併設した施設の設置を求めました。区民のみなさんの声をお寄せください。



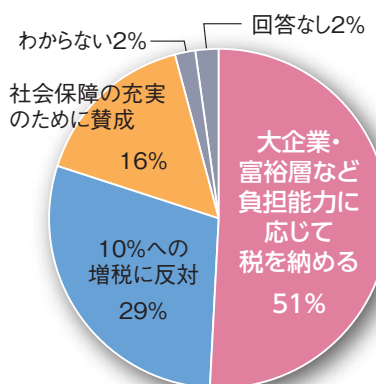
くつろぎの家と清掃工場の煙突

くつろぎの家

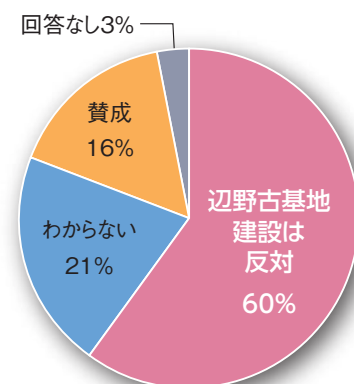
区民アンケート結果 ● その2

先にお願ひしました区民アンケート

消費税10%増税について



沖縄の辺野古基地建設について



必要だか
工事をす

就学援助

新入学支援の改善を！

就学援助は、経済的に困難な家庭向けに、学校生活に必要な費用を補助するものです。新入学学用品費は、支給が入学後の8月となっていることから、支給時期の前倒しを求めました。ここ数年、前倒しで支給する自治体が増え、4月以降23区では6区が実施します。

これに対し、区は「現状では考えていない」と答弁、保護者の切実な願いに背を向けました。今後も前倒し支給の早期実施と支給額の増額を強く求めていきます。

中学の入学準備には「夏服も含めた制服代、体操着、カバン、上履きなどを含めると約10万円かかった」という実態も寄せられており、これらの学用品を購入する2月頃に支給するよう改善すべきです。



上一色小 統廃合問題

上一色小学校の統廃合については、保護者らが1万筆の署名とともに議会に提出していた「学校の存続を求める」陳情が不採択となりました。共産党と無所属系会派は採択を主張するなど賛否が分かれました。

これに対し区教委は、今議会で閉校の時期を示し、保護者にも説明を始めました。多くの保護者が区の説明に納得していない状況で、こうした方針を示すことは、さらなる区への不信を招くと今議会で強く指摘しました。性急に統廃合を進めようとする区の姿勢は問題です。

清掃一部事務 組合議会

区議会議長が 『卒業旅行』!?

23区の各区議会議長で構成している清掃一部事務組合議会、一人66万円の経費をかけ海外視察が実施されると報道されました。

23区の議長全員が参加し、4月にマレーシアとシンガポールを視察するというものですが、多くの区議会で視察後の5月頃に議長が交代する予定となっていることから、『卒業旅行』とも批判されています。

この件について、議長は「必要な視察であり参加する」と答弁。自民党からも「堂々に行くべき」との意見が出ました。江戸川区だけでも23億円の負担金を出している組合で、このような無駄な海外視察を実施することは区民感覚からかけ離れており、中止すべきです。

※23区清掃一部事務組合は、23区が出資し、清掃工場の管理運営など共同でごみの処理事業を行っているもので、各区議会の議長が清掃一部事務組合の議員を兼ねています。

JR小岩駅 周辺再開発は

住民本位で

JR小岩駅周辺では、複数の大規模な再開発事業が始まっており、区は「まちづくり」として基金まで準備し推進しています。

多くの商店が軒を連ねる北口では、駅前のイトーヨーカドーの敷地を駅前広場として整備。蔵前橋通り寄りに一棟の高層ビルを建設し、大型商業施設と住居を集約するという計画が進んでいます。

これに対し、地権者から「計画

の具体像が見えず判断できない」など、不安の声が上がっています。また、地域内には老朽分譲マンションや多くのテナントもあり、権利の弱い立場の人たちを置き去りにして計画が進むことも懸念されます。

今議会では、「誰のための事業か？住民の声を大事に」と指摘。今後も事業の推移には注視が必要です。

日本共産党江戸川区議団

法律相談

2017年第2回定例区議会 ● 6月12日～6月27日



セバタ 勇 区議地域

●連絡先 ☎03-3637-4050
●場所／セバタ事務所
法律相談 ●4月20日(木)・5月18日(木)
受付：午後6時半～8時

FBは瀬端勇で検索を



小俣 のり子 区議地域

●連絡先 ☎03-3655-4422
●場所／小俣事務所
法律相談 ●4月12日(水)・5月10日(水)
受付：午後6時半～8時

FBは小俣のり子で検索を



大橋 みえ子 区議地域

●連絡先 ☎03-5674-3753
●場所／大橋事務所
法律相談 ●4月5日(水)・5月10日(水)
受付：午後6時半～8時

ブログは大橋みえ子 goo ブログで検索を



須田 哲二 区議地域

●連絡先 ☎03-5662-5113
法律相談 ●4月6日(木)
午後6時半～8時／船堀勤労福祉会館
4月19日(水)
午後1時半～3時半／東部区民館・いちょう

FBは須田哲二で検索を



牧野 けんじ 区議地域

●連絡先 ☎03-5662-5113
●場所／牧野けんじ事務所
法律相談 ●4月25日(火)・5月24日(水)
受付：午後2時～4時

ツイッター @kenji_makino FBは牧野けんじで検索を

各区議事務所・区議団控室では
常時生活相談を受け付けています。

☎03-5662-5113 (控室)